

# 平成27年度 再評価委員会

路線名：一般国道444号  
(佐賀福富道路)

事業名：道路改良事業  
事業地：佐賀市嘉瀬町～杵島郡白石町  
(再評価実施後5年が経過)

## 佐賀県の道路整備方針

### 佐賀県総合計画2015」

- 幹線道路ネットワークの整備
  - 広域幹線道路ネットワーク整備  
(有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号)
- 暮らしに身近な道路の整備
  - 通学路などにおける歩道等の整備
  - 生活圏内における安全な道路環境の整備
- 道路防災の推進
  - 緊急輸送道路等における防災対策の推進
  - 橋梁長寿命化修繕計画等に基づく計画的な点検や修繕の実施

# 有明海沿岸道路とは

- 福岡県大牟田市と佐賀県鹿島市を結ぶ  
延長約55kmの地域高規格道路



▲有明海沿岸道路の位置と周辺の広域幹線道路ネットワーク

## 有明海沿岸道路の概要 L=約55km



# 事業目的

地域間の交流支援強化

国道444号のバイパス機能

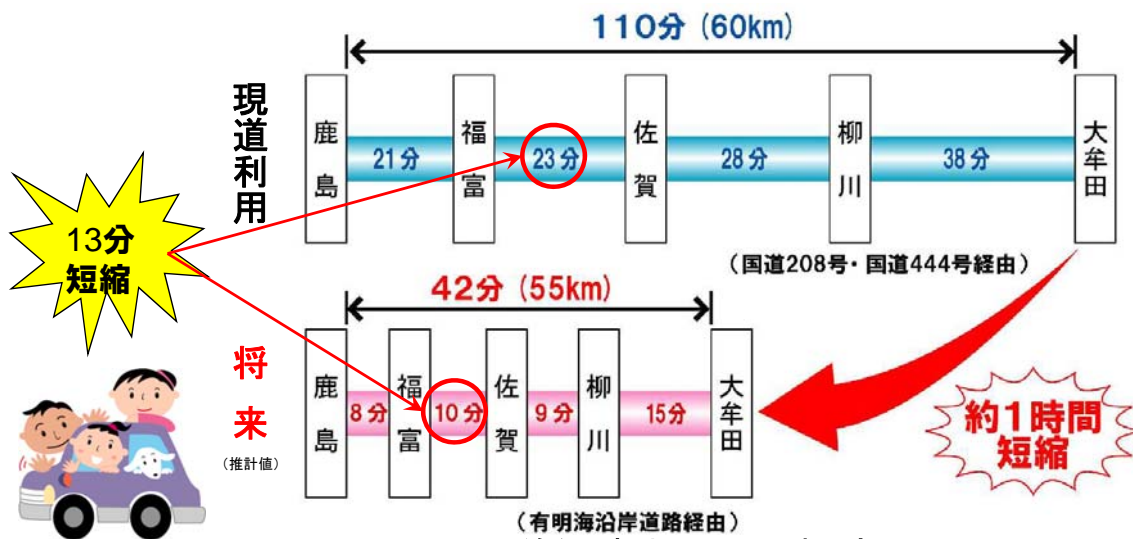
4

## 地域間の交流支援強化

●有明海沿岸道路の整備により、  
大牟田市～鹿島市が  
現道利用:110分 → 将来:42分  
(一般道)

約1時間も短縮!  
(推計値)

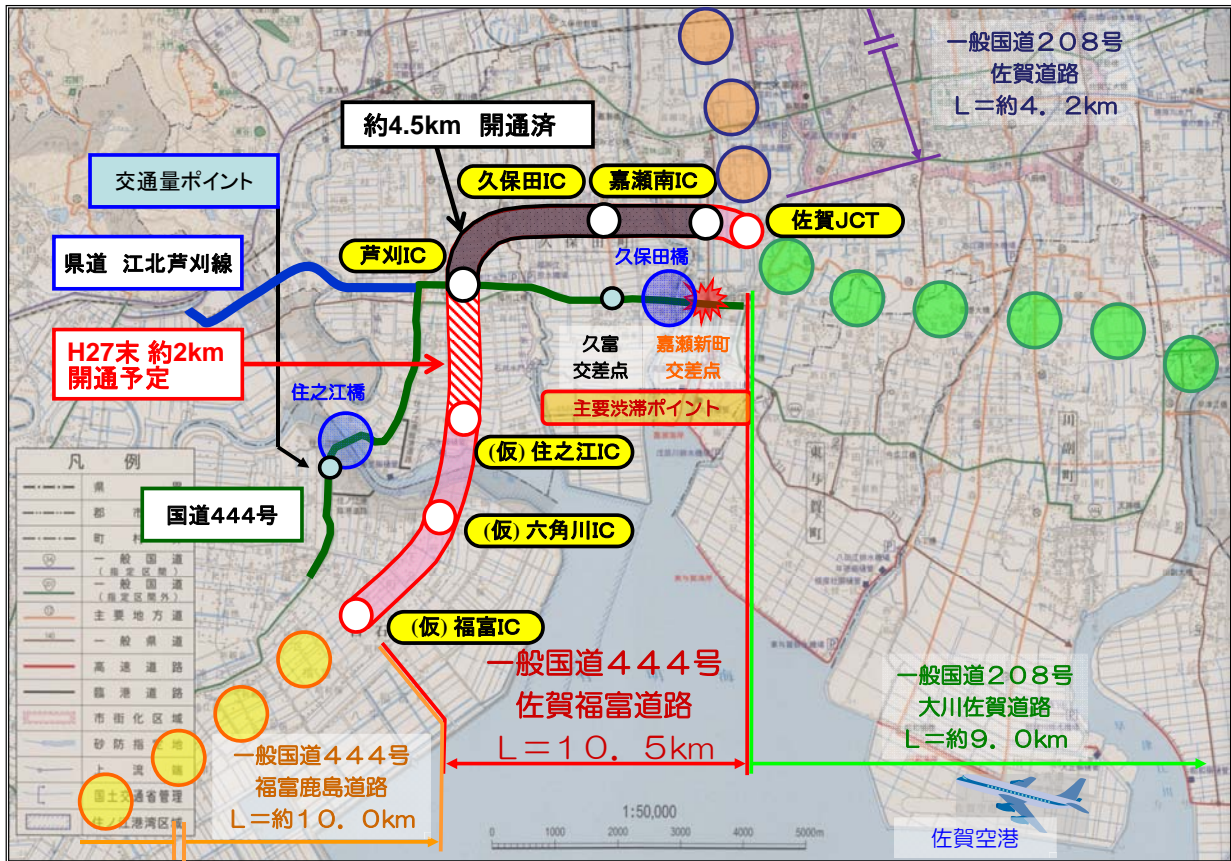
地域間の交流支援  
に大きく寄与!



(有明海沿岸道路経由)  
▲沿線主要都市圏の所要時間変化

5

# 国道444号のバイパス機能



6

## 事業の効果・必要性(渋滞対策)

### 国道444号 現道の交通渋滞の緩和



嘉瀬新町交差点(供用前)

交通量(平成22年10月調査)  
17,568台/12h

佐賀福富道路  
L=4.5km供用



嘉瀬新町交差点(供用後)

交通量(平成26年6月調査)  
14,010台/12h

**約20%減少**  
(約△3,500台/12h)

7

# 事業の効果・必要性(渋滞対策・安全確保)

橋梁部においては幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難なため、渋滞が発生

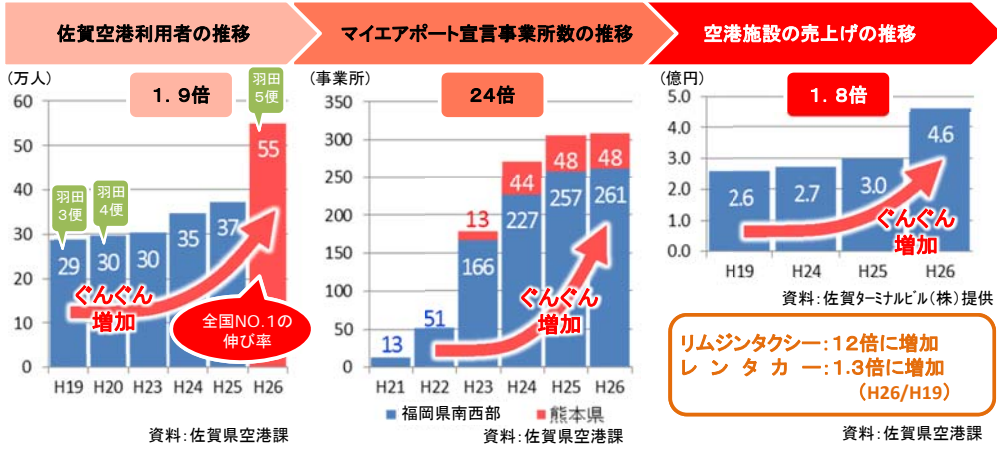


一般国道444号 住ノ江橋 離合待ちしているダンプトラック

# 事業の効果・必要性(ストック効果)

## 佐賀空港がますます便利に！

- 有明海沿岸道路(福岡県区間)の開通を契機として、佐賀空港の利用者数は、年々増加。
- 沿道地域では、マイエアポート宣言事業所も増加。
- 空港利用者の増加により、空港施設の売上げアップ。
- 佐賀への延伸により、アクセス向上が図られ、更なる空港利用者増と経済波及効果が確実。



**佐賀空港**

平成10年に開港

国内便: [羽田]5往復/日  
: [成田]1往復/日

国際便: [上海]3往復/週  
: [ソウル]3往復/週

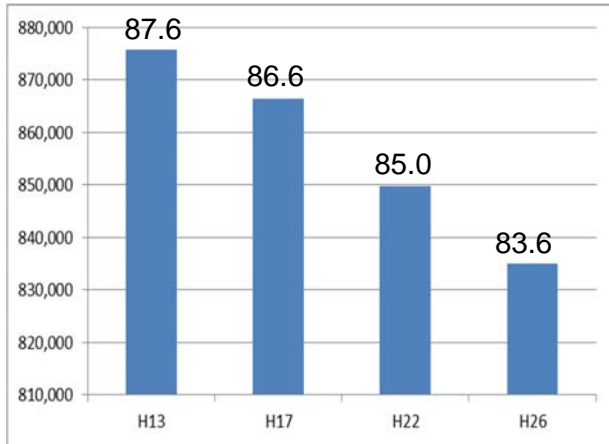
リムジンタクシー: 12倍に増加  
レンタカー: 1.3倍に増加 (H26/H19)

※ マイエアポート宣言事業所とは、佐賀空港を積極的に利用するとして会員登録した事業所

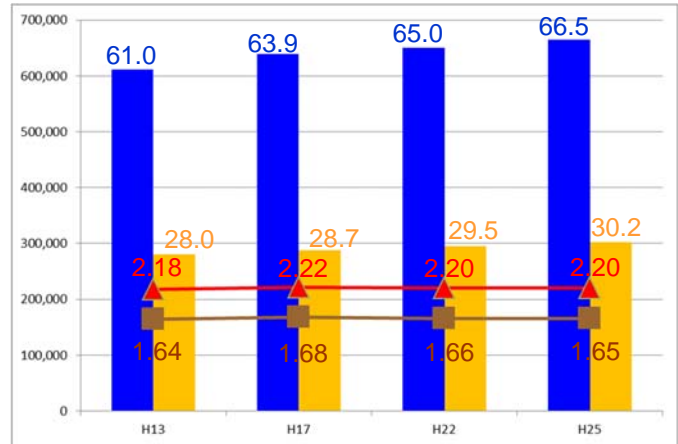
# 事業の効果・必要性(社会情勢等の変化)

- 佐賀県の人口は減少しているものの、核家族化等により世帯数は増加傾向にあり、自動車保有台数についても年々増加している。
- また、公共交通機関が充実していない本県においては、移動手段として自動車に頼らざるを得ない状況であり、自動車への依存度は高い。

佐賀県の人口の推移 (単位:万人)



佐賀県の自動車保有台数の推移



青: 自動車の保有台数(万台)

黄: 世帯数(万世帯)

赤: 自動車保有台数(1世帯当たり台数) 佐賀県

茶: 自動車保有台数(1世帯当たり台数) 九州平均

10

## 事業概要

- 全体事業費: 約580億円
- 工期: 平成13年度～平成34年度(予定)
- 全体計画延長: L=10.5km  
(暫定2車整備)

事業内容: 改良工 L=10.5km

用地買収 A=497,868m<sup>2</sup>

家屋補償 n=22件

	平成26年度まで	平成27年度	平成28年度以降
事業費(億円)	284.49	25.18	270.33
進捗率(%)	49.1	53.4	100
用地進捗率(%)	76.3	82.2	100

11

# 費用便益分析

費用便益比(B/C)=1.9

## 【便益】

- ・走行時間短縮便益=892.6 億円
  - ・走行経費減少便益=159.9 億円
  - ・交通事故減少便益= 68.1 億円
- 合計 1,120.6 億円

## 【費用】

- ・事業費 =568.4 億円
  - ・維持管理費 = 9.7 億円
- 合計 578.1 億円

12

## コスト縮減や代替案等の可能性

### (コスト縮減)

- ・本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。
- ・他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト縮減を図る。

### (代替案の検討)

- ・特に無し

13

## 対応方針(事業課案)

- 佐賀福富道路は、有明海沿岸地域の都市と佐賀空港や三池港といった交通拠点との連携を強化する地域高規格道路である有明海沿岸道路の一部を構成している道路である。
- また、佐賀空港の発展、集客圏域拡大に伴う観光振興等が期待される地方創生を下支えする重要な道路である。
- 当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果も高い。
- 以上のことから、引き続き事業を継続することとしたい。